

防護委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 25 (2013) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 赤羽 恵一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	赤羽恵一◎、大谷浩樹、唐澤久美子、小泉雅彦、西川慶一、芳賀昭弘、丸橋 晃、盛武 敬、米内俊祐、小口 宏
今年度課題	1. 情報共有 放射線防護に関する情報を収集・共有する。 2. 広報活動 放射線防護に関する情報を発信する。 3. 対外協力 放射線防護に係わる他組織と協力し、医療放射線防護活動推進に寄与する。
委員会開催 履歴	4月12日 於：パシフィコ横浜 出席7名
総括	1. 情報共有：委員会等で、放射線防護に関する情報を共有し、問題等の議論を継続した。 2. 広報活動：放射線防護に関する情報発信について議論を継続した。 3. 対外協力：「クリアランスおよび放射化物に関する医療関係学会等団体合同ワーキンググループ」に、JSMP からの参加として、防護委員会メンバーが参加してきた。2012年8月1日に出された、JSMP・JSRT・JASTRO 共同の「粒子線治療施設における放射化物の取扱いに関するガイドライン」取りまとめにメンバーを出し、2013年9月20日に改訂された。また、2013年4月に開催された医療被ばく研究情報ネットワーク (J-RIME) 総会と、7月20日に開催された J-RIME ワーキンググループに JSMP 防護委員会として出席した。